

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	A-242
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.			
大壁「1間 上下あき」裏棧あり					〒			
					電話	Fax		
概要	技術概要							
	構造用合板を使用し、横架材及び土台と面材が接合されていない補強工法。床天井間のみを構造用合板で補強する工法。							
	技術の特徴						コスト	
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 1間の間に柱がない場合に有効。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	18,163 円/kN
設計見積り例					—			
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関			
機関名					名古屋工業大学			
評価番号					その他			
評価取得日								
仕様	適用範囲							
	構法	木造在来軸組工法						
	規模	3階建て以下						
	基礎、地盤	特になし						
	適用部位	内外壁						
	その他	特になし						
	主要構成部材の仕様							
	構造用合板 厚 12mm 以上 横使い							
	釘 N50、CN50 @100 以下							
	間柱なし、継手受材、上下受材あり							
耐震性能								
評価仕様: 大壁直貼仕様								
壁基準耐力				壁基準剛性				
3.12kN/m				696kN/rad./m				
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.6$								
壁基準耐力 $5.2 \times 0.6 = 3.12$								
設計方法								
①柱接合部による低減								
取付部分が健全であること								
②劣化による低減								
取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
その他								
写真・図								
部分開口 $a+b \leq 370\text{mm}$								
継手受材は正面から見て 90mm								
上下受材は正面から見て 45mm								
大壁 裏棧あり								
構造用合板 厚 12mm 以上								
釘 N50、CN50 @100mm 以下								
四周打ち								
継手受材 30×90mm 以上								
釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち								
上下受材 90×45mm 以上								
釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち								